

# 平成 28 年度 学問発見講座

2年生全員を対象とした進路行事として、「学問発見講座」が11月18日（金）午後実施されました。これは、実際に大学の先生方に来ていただいて専門分野の講義や研究内容の紹介をしていただくことで、大学や学問についての理解を深めることを目的とした行事です。今年度は、次の11講座を開講しました。

講座をご担当いただいた先生方からは、「たくさんの示唆に富んだ質問をしていただき、感謝している」「質問も的確で、内容を理解してくれていることが確認できた」など、大変あたたかいお言葉をいただきました。講師の中には藤島OBの方もおられ、OBならではの目線から、後輩に向けたメッセージを残していただきました。先生方には大変お忙しい中、前もって講義の準備を下さっており、感謝申し上げます。

本講座で学んだことを生かし、自分や家族のためだけでなく、世界中の人のため、そして日本の将来のために、日々の勉強に取り組み、卒業後の進路に向けて前向きに取り組んでほしいと考えています。

## 【講師一覧】

	学問領域	所属・職名	氏名
①	国際学	金沢大学 国際学類 准教授	加藤 篤行 先生
②	教育学	福井大学 教育学部 准教授	遠藤 貴広 先生
③	法学	一橋大学 法学研究科 教授	葛野 尋之 先生
④	経済学	福井県立大学 経済学部 講師	藤野 秀則 先生
⑤	医学(産科婦人科学)	福井大学 医学部医学科 教授	吉田 好雄 先生
⑥	医学(地域医療推進講座)	福井大学 医学部医学科 講師	山村 修 先生
⑦	薬学	金沢大学 薬学類・創薬科学類 准教授	伊従 光洋 先生
⑧	理学	金沢大学 理工学域 数物科学類 助教	石渡 弘治 先生
⑨	機械工学	東京大学 生産技術研究所 教授	吉川 暢宏 先生
⑩	建築工学	東京工業大学大学院 総合理工学研究科 教授	元結 正次郎 先生
⑪	情報工学	名古屋工業大学 大学院工学研究科 情報工学専攻 准教授	武藤 敦子 先生

## 【各講座の様子】

### ① 国際学



国際的な人材になるということは単に海外のことを学ぶのではなく、日本人としての誇りや考え方を持った上で、異文化の人と関われるようになるという話が新鮮だった。

貿易には複雑で難しいイメージが合ったけれど、例を挙げることでメカニズムは簡単に説明できることが分かりました。話題になっている正確が本当に良い物なのか、判断できるようになりたいです。今回貿易学にふれるきっかけができ、より詳しく知りたいと思う点もあったので、大学に行って関連した授業を受ける機会があったら取ってみたいと思います。

## ② 教育学



学校教育についての課題が多く、国レベルで正しい方法や最善策を探っている状況であることを知りました。大学の入試が変わっていくことに対して疑問を持っていましたが、遠藤先生のお話の中で、評価方法、入試、原理を通して分かりやすく解説されていたので、とてもすっきりしました。将来、自分は教員になろうと思っていますが、今の教育の課題を知ることができたと思います。

## ③ 法学

「少年法適用年齢の引き下げ」という議題で講義をしてくださいました。私は当初、「若い犯罪者はとことん苦しめば良いのに」と思っていたのですが、今回私は先生のお話を聞いて、「少年法適用年齢は引き下げるべきではない」と考え方に完全に変わりました。

私は、家庭裁判所調査官の仕事に以前から興味を持っていたので、今回の講義はもっとこの仕事に興味をもつきっかけになったと思います。まずは今やるべきことをしっかりやって、そこからもっと自分の視野を広げていきたいです。



## ④ 経済学



企業のトップは情報の与え方を少し工夫するだけで相手の考え方や講堂を操作することができるというのはとても興味深く、そして、とても恐ろしいことだと思いました。

企業のトップはこの方法の使い方次第で、企業を良い方向にも悪い方向にも向けることができる力があると考え、情報を重要視すべきだと思いました。経済・経営の分野にますます興味が増してきているので、今回のお話をこれからの進路や将来へ生かしていきたいと思います。

## ⑤ 医学（産科婦人科学）

子宮頸がんについては聞いたことがあり、私自身ワクチンも打っていたけれど、年々若い人に増えているがんだということは知りませんでした。私たち自身の命に関わることなので、自分たちの将来のためにも、真剣に考える必要があったと思いました、ワクチンと検診を一緒に受けることがよりがんになる可能性を下げるのは明らかなので、積極的に受けるとともに、日々の生活から見直していきたいと感じました。



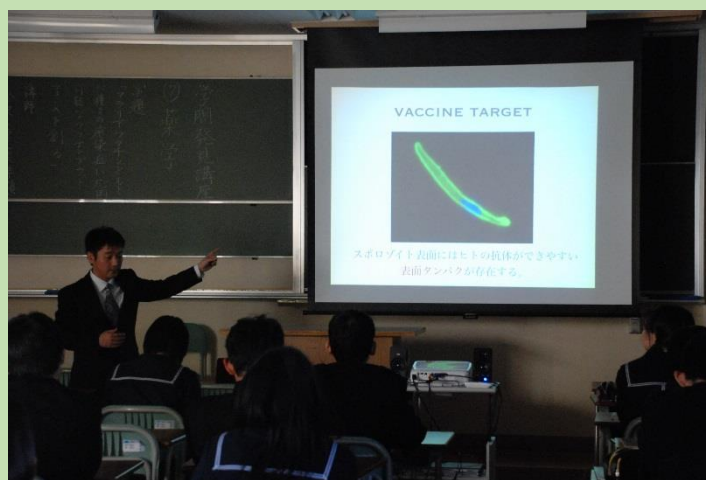
## ⑥ 医学（地域医療推進講座）



今回の講座を受けて、改めて災害医療は大変なものであるとは思いながらも、多くの人が必要とされる分野でもあり、やりがい大きいものだと感じました。災害医療は発生直後の DMAT のイメージが強かったですが、72 時間以降の医療において、保健師や栄養士、精神科医、介護士の役割が非常に大きく、多くの他の職種で協力して取り組んでいくものだと学び、災害医療は緊急事態に対応するだけでなく、通常的生活をすべての人が営むことができるようになるまで、包括的に取り組んでいくものだという認識に変えることができました。

## ⑦ 薬学

今回のお話を聞いて、どうして私が薬学部を志望しているのかを改めて考えさせられました。マラリアは私たちとは縁遠い病気と思っていましたが、2 億人の人が感染し、毎年 58 万人ほどがなくなっていると聞いたのは、とても衝撃的でした。講義の中で聞いた、マラリアのワクチン開発は先進国の仕事だとおっしゃっていたのを聞いて、私もそのように世界に目を向けて命を救うという志を持ち、これからの進路実現に向けて努力しようと改めて強く思うことができました。



## ⑧ 理学



先生のお話は、私たち高校生の素朴な疑問や悩んでいることに答えてくださるので、今日一日でいろいろな疑問に対する考え方を聞いて良かったです。受験に対するモチベーションも上がったように感じます。物理に関する話だけでなく、「なぜいま勉強する必要があるのか」について話していただき、さらに大学で物理を専攻できるよう、今はひたすらに勉強を頑張りたいと思えるようになりました。

## ⑨ 機械工学

ジェットエンジンのお話を聞きましたが、その開発は機械工学でも、ジェットエンジンひとつをつくるのに流体力学や振動学、熱力学など様々な学問が使われていることを始めて知り、1つの学問だけではなく、たくさんの学問が一つのことに集中しているのは興味深いことだと感じました。もっと機会について知りたいし、どのようところに機械工学が使われているのかを知りたいと感じました。



## ⑩ 建築工学



今回の講座を通していっそう、建築に興味を持つようになりました。何より驚いたのが、建築工学に関わっている方々の建物に懸ける思いやりについてです、私たちが普段快適に過ごしているのは建築に関わっている方々が細かいところまで幾度となくシミュレーションを繰り返して、時間をかけていただいているおかげだということを実感しました。

自分の将来についてすこしずつはっきりしてきた部分が増えてきたように思います。今回の講座に参加して本当に良かったです。

## ⑪ 情報工学

人の友人関係、交流などを学問で広げることができるという聞いて、情報工学がすてきな学問だと感じました。今の社会では人とのつながりが大切にされていると思うので、ネットワークを通して人とのつながりに関われるのはいいな、と思いました。今の日本では昔以上に女性が求められていると聞いて、頑張ろうと思うことができました。本当に勉強になりました。ありがとうございました。

